



リリースノート、主な追加機能説明
Ver. 3.0.0

2026年2月19日

ペンギンシステム株式会社



「救トレ[®]」はペンギンシステム株式会社の登録商標です

目次

1. リリースノート	2
2. 主な追加機能説明.....	5
(1) シナリオ表示順変更機能 (Ver.1.0.5 以降)	5
(2) Wi-Fi チャンネルの選択機能 (Ver.1.1.0 以降)	6
(3) 任意画像を登録・呼出表示する機能 (Ver.2.0.0 以降)	7
(4) 「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能 (Ver.2.0.0 以降)	10
(5) 電源 OFF 機能 (Ver.2.0.0 以降).....	11
(6) 除細動器(電気ショック)機能 (Ver.2.2.0 以降)	12
(7) 血圧を任意のタイミングで反映するボタン機能 (Ver.2.3.0 以降).....	13
(8) 血圧表記として上下測定不能「-/」指定をする (Ver.2.3.2 以降).....	14
(9) シナリオを複製するとシナリオ内のシーンも同時に複製 (Ver.2.4.0 以降).....	16
(10) HDMI 接続による画面出力の無効化機能 (Ver.2.5.0 以降).....	18
(11) 有線接続機能 (Ver.3.0.0 以降).....	19

1. リリースノート

機能追加にご注目いただくために、機能修正・機能改善は薄字にしています。

Version	発行日	内容
1.0.0	2017/7/15	初版
1.0.1	2017/7/29	機能修正(波形に関する微細な修正)
1.0.2	2017/8/8	機能追加(HDMI 接続機能、共通設定機能) 機能改善(数値変化表現)
1.0.3	2017/9/6	機能追加(バイタル値上下調整ボタン、共通設定(点滅・警告音、波形色の変更機能))
1.0.4	2017/10/27	機能追加(テレビ向け HDMI 映像出力設定機能)
1.0.5	2017/11/10	機能追加(警報音ミュート機能、シナリオ表示順変更機能)
1.0.6	2018/6/7	機能改善(ミュートアイコン改善、設定画面へのリンクを中央に移動、Asystole 波形改善)
1.0.7	2018/9/10	機能改善(コントローラー画面のインターフェースを改良)

1.0.8	2018/12/13	機能改善(血圧表記の数字を大きくしました)
1.1.0	2019/3/28	機能追加(設定画面でWi-Fiチャンネルを選択可能としました)
1.1.1	2019/5/28	機能修正(Ver.1.1.0における起動時の問題を解決)
2.0.0	2021/3/5	機能追加(任意画像を登録・呼出表示する機能)、「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能(複数台利用の方に便利な機能です)、電源OFFボタン
2.0.1	2021/3/9	機能改善(モニター画面の血圧表記数字をより大きくしました)
2.1.0	2021/3/18	機能追加(「画像の削除」機能を追加) 機能改善(「シナリオの取り込み」後のメッセージを改善、画像アップロード完了時のメッセージを改善)
2.1.1	2021/4/15	機能改善(心電図波形の表示順を改善。任意画像表示機能の動作を改善)
2.2.0	2021/6/8	機能追加(除細動器(電気ショック)機能を追加)
2.2.1	2021/6/11	機能改善(一部の環境で除細動器(電気ショック)機能が正常に使えない問題を解消)
2.3.0	2021/9/16	機能追加(血圧を任意のタイミングで反映するボタンの追加。バイタル値の変化秒数の設定機能を追加)
2.3.1	2021/9/28	機能改善(バイタル値の変化秒数の設定機能に関する不具合の修正)
2.3.2	2022/4/26	機能追加(血圧表記として上下測定不能「-/-」指定を追加) 機能改善(VF状態から波形選択でNormalに変更する条件で発生していた不具合の修正)
2.4.0	2022/9/13	機能追加(シナリオ複製時にシーンも複製する機能を追加)

2.4.1	2022/10/25	機能改善（画面表示において不要スクロールが発生しないように改修。一部のスマートフォンにおいて効果音アイコンをタップしても効果音一覧が表示されない現象への対応）
2.4.2	2024/5/28	機能改善（コントローラー利用時のモニターOn ボタンを見やすく改善，音量バランスの調整，前回利用時音量保持，シナリオ編集機能動作改善，設定情報反映タイミング改善，コントローラー利用時のレイアウト改善，除細動模擬機能挙動改善，スマートフォン利用時のUI改善）
2.5.0	2025/10/2	機能追加（画像出力 HDMI を無効にするボタン追加） 機能改善（Wi-Fi 接続の安定化）
3.0.0	2026/2/19	機能追加（モニター・コントローラーとの有線接続も可能とした。なお、従来どおりの無線(Wi-Fi)接続も引き続き利用可能）

2. 主な追加機能説明

(1) シナリオ表示順変更機能 (Ver.1.0.5 以降)

トップ画面右上の「設定」から「シナリオ追加・編集」に進んで下さい。以下の画面になります。シナリオの表示順は画面最も左の三本線アイコン(赤丸の箇所)をつかんで上下にドラッグアンドドロップすることで変更可能です。



(2) Wi-Fi チャンネルの選択機能 (Ver.1.1.0 以降)

トップ画面右上の「設定」から「無線(Wi-Fi 設定)」に進んで下さい。以下の画面になります。

当該「救トレ ポータブル」が使う Wi-Fi チャンネルを 3 つの選択肢から選択することができます。

本機能は通常時は使う必要はありません。複数の「救トレ ポータブル」をお使いの場合で、混線が心配な場合のみお使い下さい。それぞれの「救トレ ポータブル」を別のチャンネルを使うように設定するとよいでしょう。



(3) 任意画像を登録・呼出表示する機能 (Ver.2.0.0 以降)

予め設定しておいた任意の画像をバイタルサイン値の上に表示することができます。

(ア)任意画像の登録

任意の画像を 12 個までプリセットし、トレーニング時に呼び出して『モニター』上に表示させることができます。まずトップ画面右上の「設定」から「画像設定」に進んで下さい。以下の画面になります。3 ステップで画像をセットします。

ステップ 1. 画像置き場を選択

まず 12 個の画像置き場のうち、どこに画像を置くかを選択します。また、不要な画像は「画像削除」ボタンから削除下さい。

ステップ 2. 配置する画像を選択

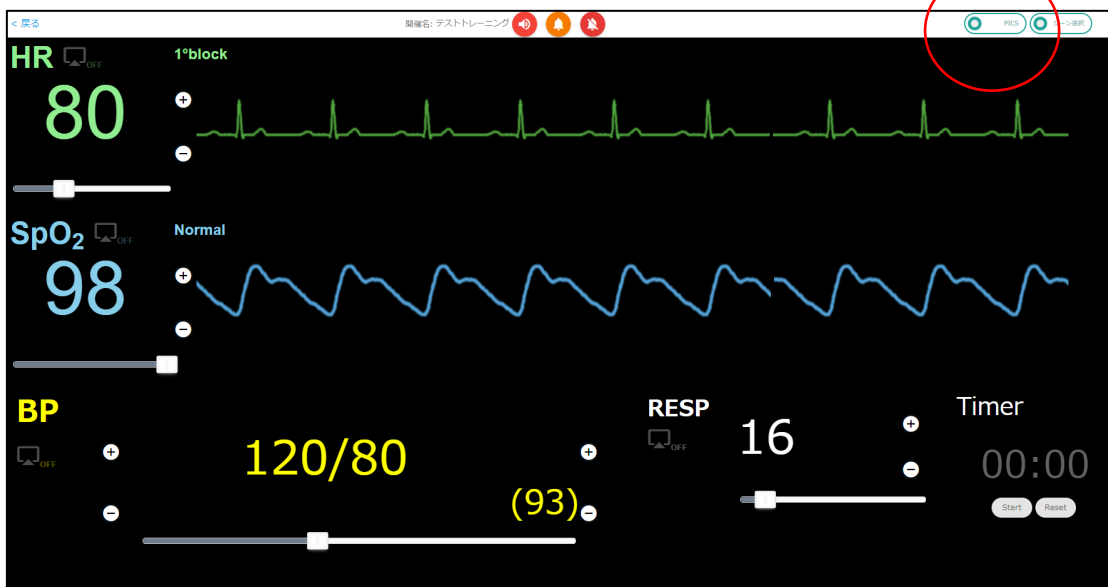
「Browse」ボタンから配置する画像を選択ください。対応しているファイル形式は png と jpg(jpeg)です。

ステップ 3. 配置

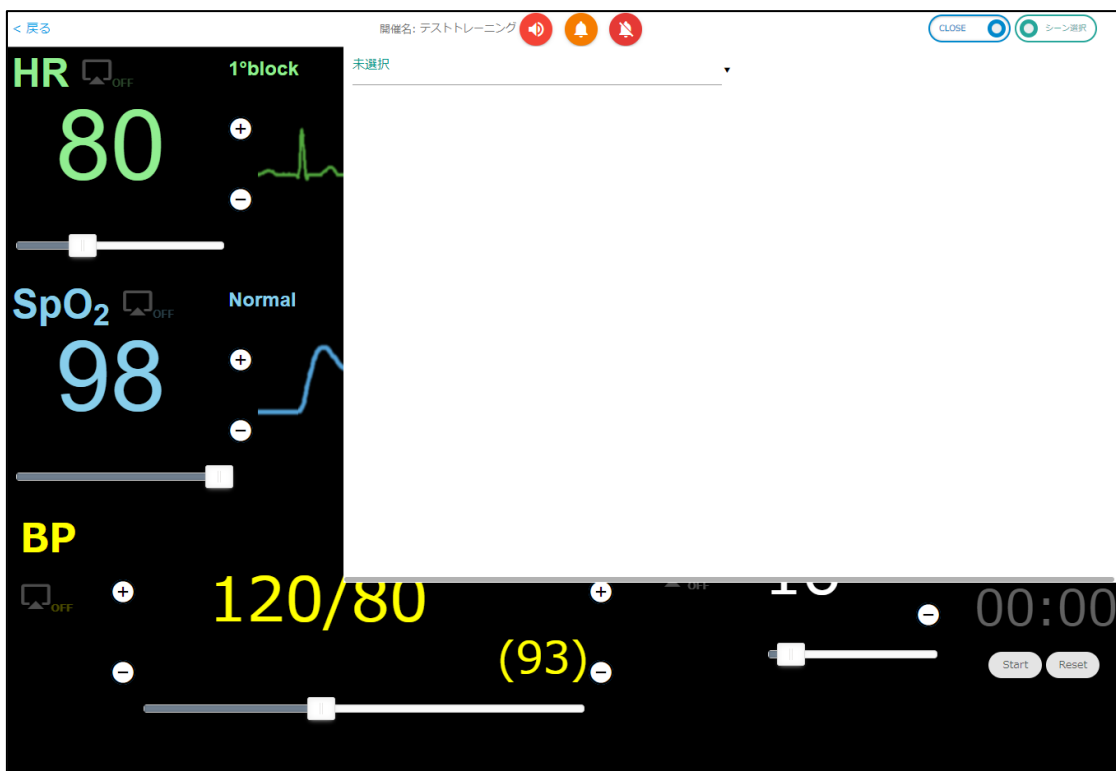
「Upload」ボタンを押して、画像をアップロード(配置)します。ファイルサイズは 3MB が上限です。

(イ)任意画像の呼出表示

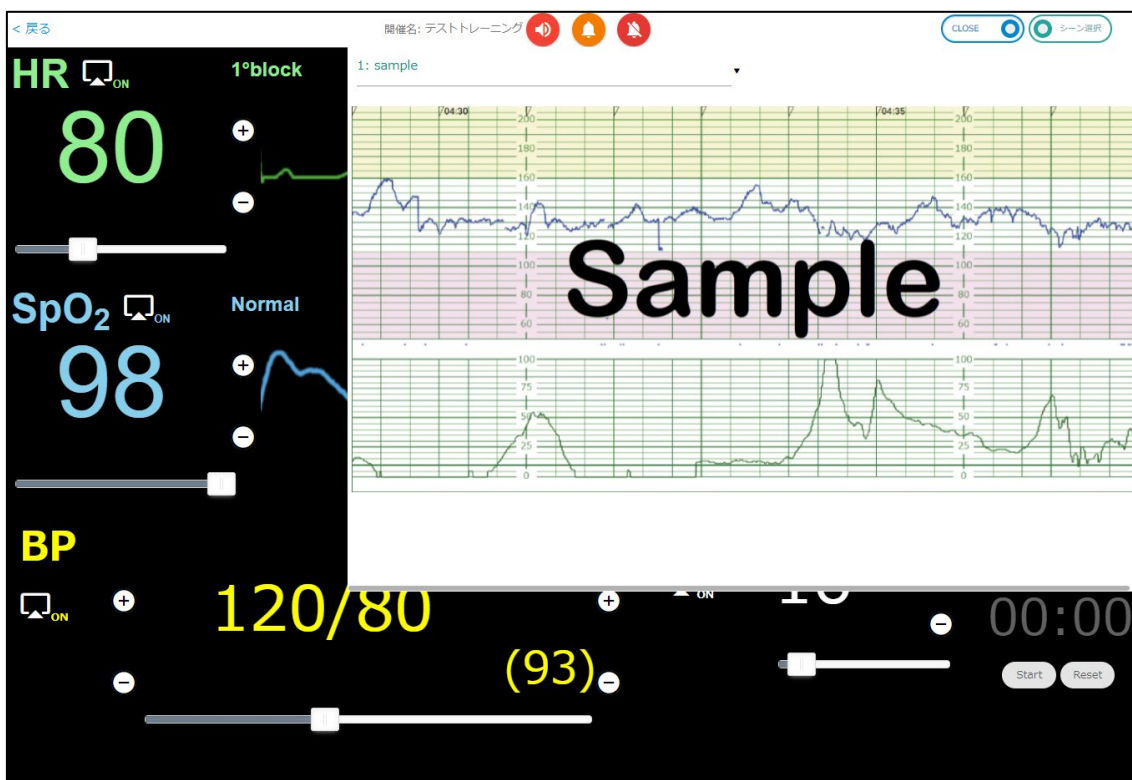
『コントローラー』画面の右上、右から2番目の「PICS」ボタン(赤丸の箇所)を押して下さい。



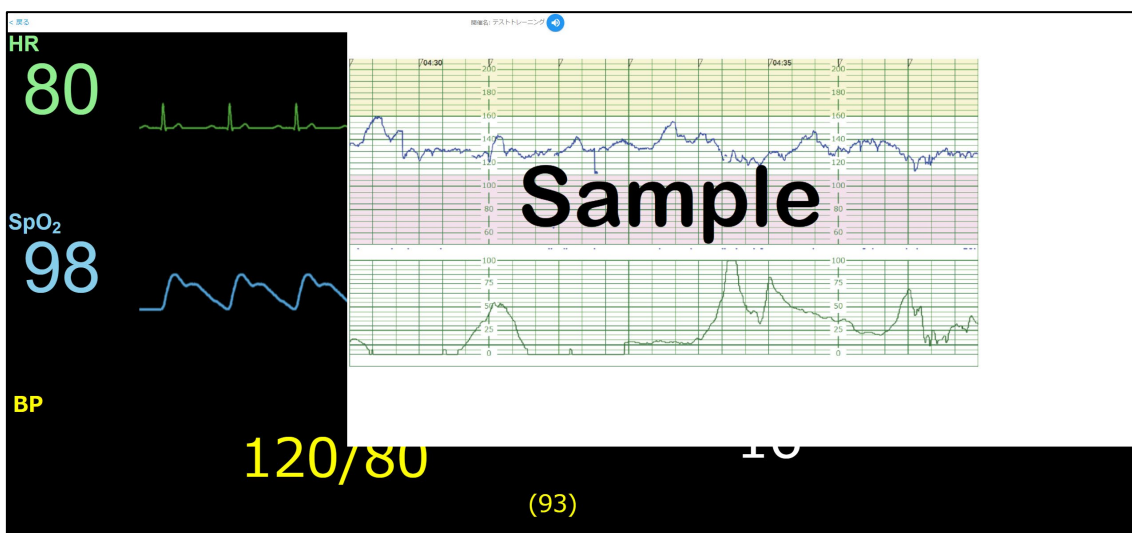
下のように表示されます。ここで「未選択 ▼」となっている箇所から画像を選択します。



『コントローラー』側で例えば以下のような画像を選んだとします。



『モニター』側では以下のように表示されます。



X線写真や何かしら患者の様子を表すような写真など任意の画像を設定しておいて、トレーニングの状況に合わせて説明をしたいときなど任意のタイミングで、トレーナー(インストラクター)が使うのに便利な機能です。

(4) 「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能 (Ver.2.0.0 以降)

トップ画面右上の「設定」から「シナリオデータの取り出し・取り込み」に進んで下さい。以下の画面になります。

ネットワーク名[qtrain0394]

[< 戻る](#)

【シナリオデータの取り出し】

シナリオデータを取り出して保存します（人間の読める形式ではありません）。
バックアップ、別の「救トレ ポータブル」へのシナリオ複製の目的にもお使いいただけます。

[取り出し](#)

【シナリオデータの取り込み】

「シナリオデータの取り出し」で保存したファイルを「救トレ ポータブル」に取り込みます。
バックアップからのリストアとしてもお使いいただけます。
また、別の「救トレ ポータブル」からのシナリオ複製の目的にもお使いいただけます。
ただし、シナリオデータは上書きされますので、その点ご了解の上、ご自身の責任のもとに行ってください。

[ファイル選択](#) [取り込み](#)



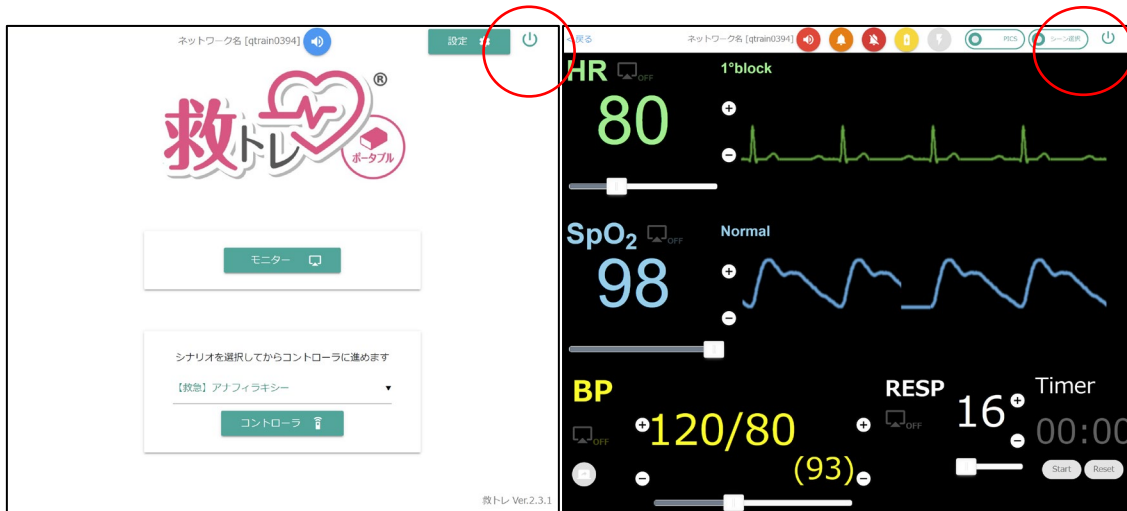
「取り出し」をすることで、ご自身のパソコン内にシナリオをバックアップすることができます。また、「取り込み」をすることでバックアップしたシナリオを「救トレ ポータブル」に取り込むことができます。（ただしシナリオデータは上書きされますのでその点ご了解のうえ、本機能をお使い下さい）

また、複数台の「救トレ ポータブル」をお使いの場合に、オリジナルシナリオを作成する場合などは、1台の「救トレ ポータブル」でシナリオを作成したのち、「シナリオデータの取り出し」を行い、ほかの「救トレ ポータブル」では「シナリオデータの取り込み」をおこなうことで、シナリオのコピー用途にもお使いいただけます。（ただしシナリオデータは全てが上書きされますのでその点ご了解のうえ、本機能をお使い下さい）

(5) 電源 OFF 機能 (Ver.2.0.0 以降)

トップ画面、及びコントローラー画面の右上に電源 OFF ボタンがあります(赤丸の箇所)。救トレポータブル使用終了時には、いきなり電源コードを抜かず、電源 OFF ボタンから電源 OFF にしてから電源コードを抜くことを推奨します。

なお、スマートフォンなど小さな画面のデバイスですと、電源ボタンが表示されません。タブレット、パソコン等の画面から電源 OFF を実施ください(「モニター」にお使いだった場合も、トップ画面に戻って頂ければ右上に電源 OFF ボタンがございます)



(6) 除細動器(電気ショック)機能 (Ver.2.2.0 以降)



コントローラー画面上部に2つある除細動器(電気ショック)関係アイコンの用途は以下の通りです。



左側の「充電」アイコンを押しますと除細動器への充電音が流れます。

電気ショックが可能になりますと、「充電」アイコンが灰色に変わり、右側の「ショック」ボタンが黄色に点滅します。

なお、「充電中」を示す「ブブブブ…」音、「充電完了」を示す「ブー—」音が流れているあいだはバイタルサイン音が小さくなりますが、トレーニング受講者が充電関連音をしっかり認識するために、音量のバランスを調整しているものです。

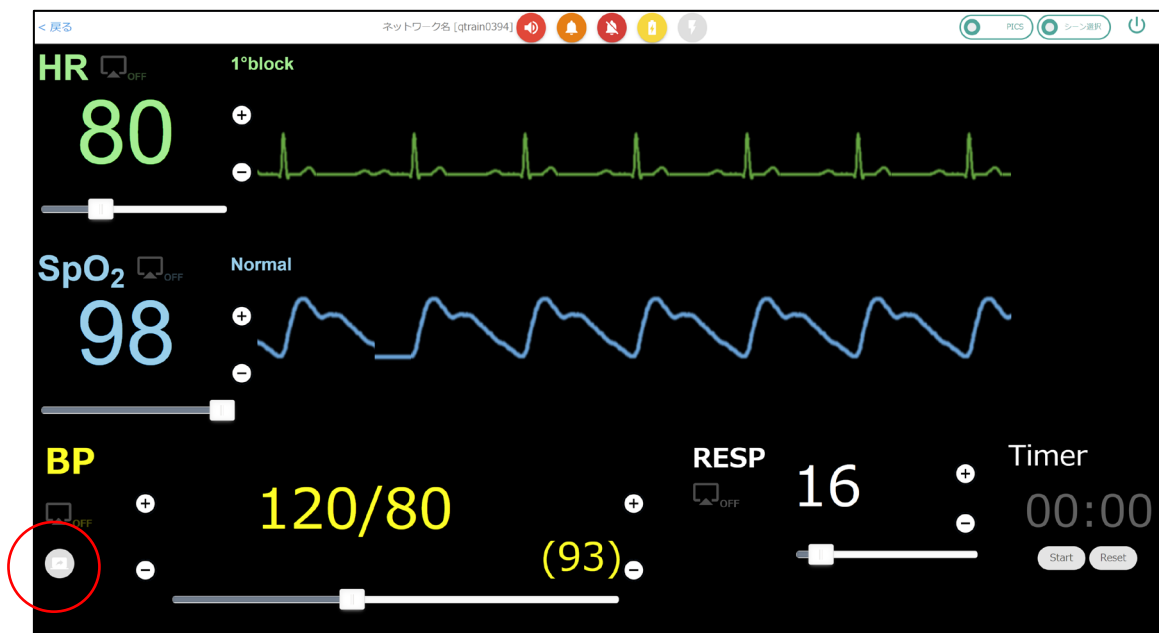


右側の「ショック」ボタンを押すと、電気ショック音が流れます。波形にもそれに伴う乱れが生じます。

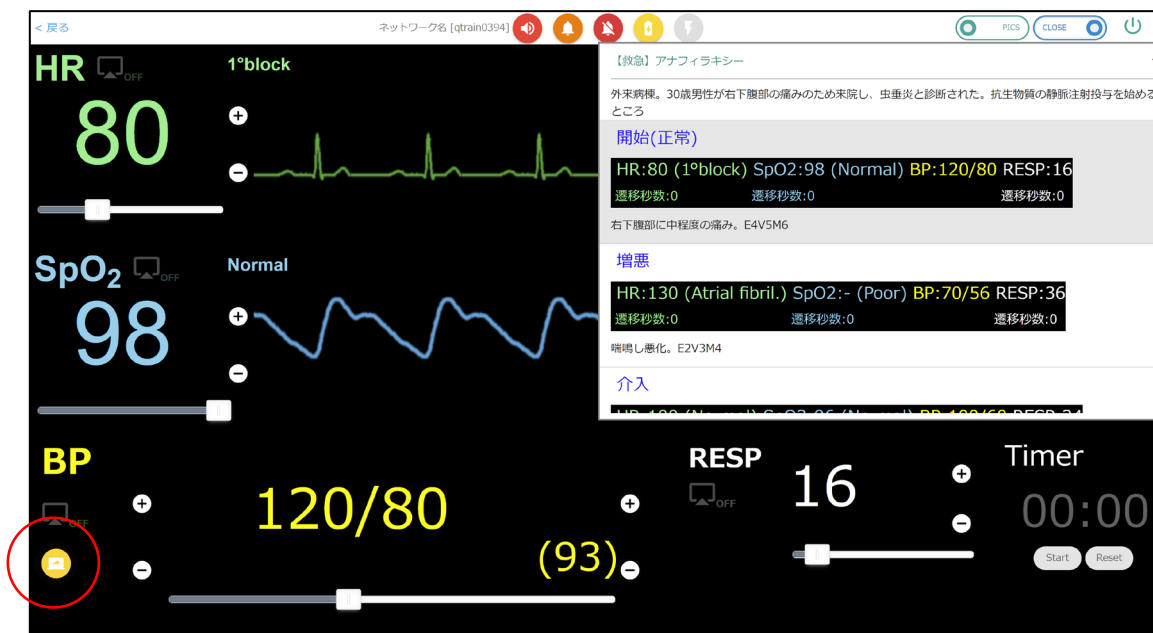
なお、この除細動器(電気ショック)関係アイコン2つは『モニター』側にもありますので、『モニター』に利用する機器がタッチパネル式であれば、受講者自身が押すことも可能です

(7) 血圧を任意のタイミングで反映するボタン機能 (Ver.2.3.0 以降)

コントローラー画面の左下「BP」の下方に「血圧変更」ボタンがあります(赤丸の箇所)。



コントローラー側で「シナリオ」内の「シーン」としてプリセットしておいたバイタルサイン値のセットにワンタップで切り替えられるのが「救トレ」の便利なところですが、血圧のみはワンタップした際にもモニター画面側では変化を起こしません。その代わりに当該ボタンが以下のように(赤丸の箇所)、黄色になって点滅します。



トレーニング受講者が明に「血圧を測る」という意思表示あるいは動作をした際に当該ボタンを押すことで、血圧がプリセットした値に変化します。

(8) 血圧表記として上下測定不能「-/-」指定をする (Ver.2.3.2 以降)

血圧が上下(収縮期血圧・拡張期血圧)ともに測定不能だという状態を指定することが可能です。

シナリオとして予め指定しておくこともできますし、コントローラー画面にて指定することも可能です。以下両方の方法をお示しします。

(ア)シナリオとして指定する方法

The screenshot shows the 'シーン設定' (Scene Settings) interface. The scene name is '血圧測定不能'. The HR field contains '100', SpO2 contains '96', and RESP contains '20'. The BP field is empty. A numeric keypad is overlaid on the screen, with buttons for digits 0-9, a minus sign, a slash, and 'OK', 'Back', 'Clear', and 'Cancel' buttons. The 'キャンセル' (Cancel) button is at the bottom left, and the '保存' (Save) button is at the bottom right.

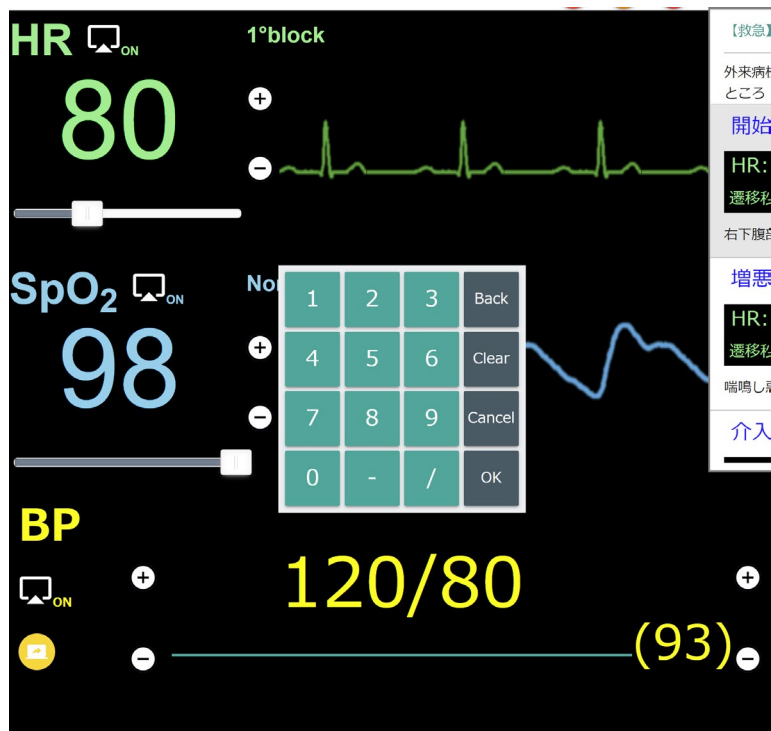
シナリオ内の「シーン」としてバイタルサイン値セットを登録する際、血圧(BP)の値として数値パッド内の「-」を入力し、「OK」にて確定ください。以下の表記となります。

The screenshot shows the 'シーン設定' (Scene Settings) interface. The scene name is '血圧測定不能'. The HR field contains '100', SpO2 contains '96', and BP contains '-'. The RESP field contains '20'. The numeric keypad is no longer visible. The 'キャンセル' (Cancel) button is at the bottom left, and the '保存' (Save) button is at the bottom right.

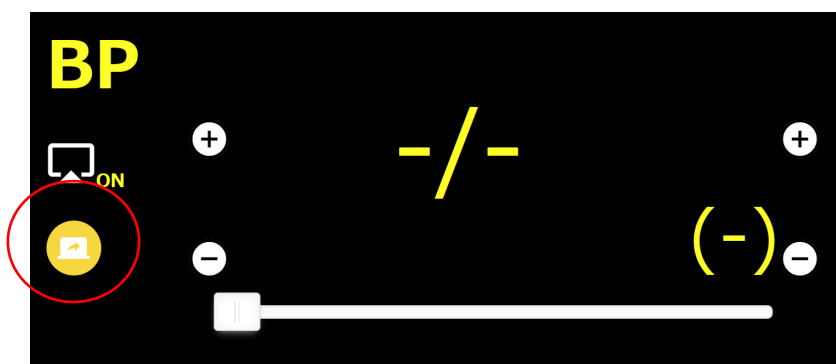
コントローラー画面にて指定する方法は次ページに記します。

(イ)コントローラー画面にて指定する方法

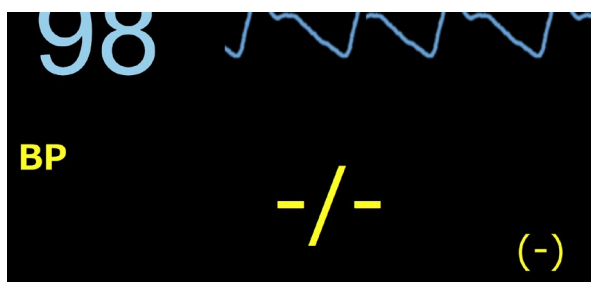
コントローラー画面にて血圧表記の数値部分(以下の例で言うと「120/80」という表示部分をクリック(タップ)すると、数値パッドが表示されます。ここで「-」を入力し、「OK」を押下ください。



以下の表記となります。



この状態で画面左端の黄色い「血圧モニター反映」ボタン(赤丸で囲ったボタン)を押下すると、モニターにも以下のように反映されます。



(9) シナリオを複製するとシナリオ内のシーンも同時に複製 (Ver.2.4.0 以降)

本機能により、既存のシナリオを複製し、複製されたシナリオを変更することで、既存のシナリオをアレンジしたようなシナリオを作成することが容易となりました。

シナリオ複製機能へのアクセスは以下の手順となります。

1. トップ画面での操作

「設定」⇒「シナリオ追加・編集」を選択



2. 「シナリオ追加・編集」画面での操作

(ア)複製したいシナリオ右側の鉛筆マークを選択



(イ)ポップアップ表示される画面右下の「複製」ボタンを押下



(ウ)シナリオリストの一番下に複製されたシナリオが作成されます。



(10) HDMI 接続による画面出力の無効化機能 (Ver.2.5.0 以降)

Wi-Fi 接続または有線接続のみを利用し、HDMI 接続による画面出力を使わない場合は、HDMI 出力機能を無効化することで救トレ動作がより安定することを期待できます。

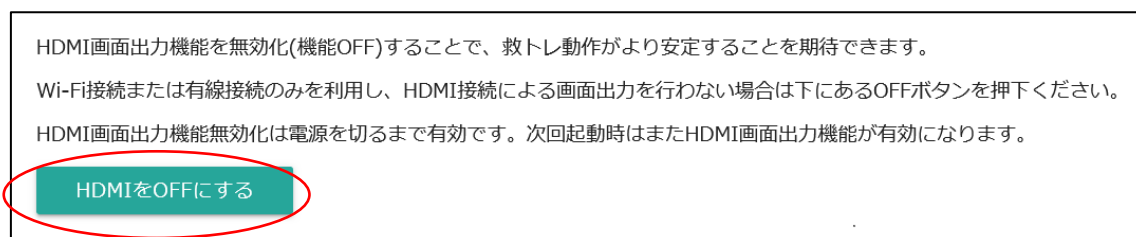
1. トップ画面での操作

「設定」⇒「画面出力(HDMI)設定」を選択



2. 「画面出力(HDMI)設定」画面での操作

「HDMI を OFF にする」ボタンをクリックする



「HDMI を OFF にしました」ポップアップが表示されます。

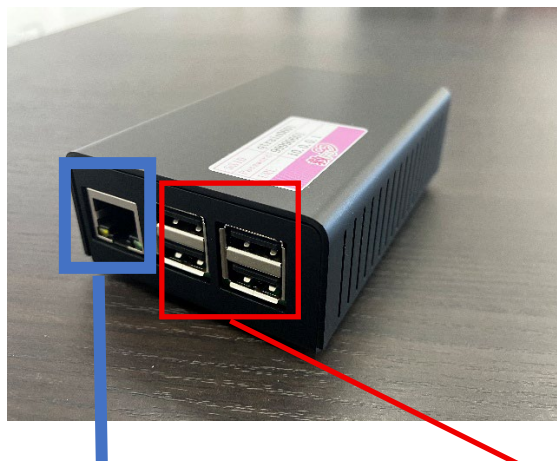
HDMI を OFF にした場合でも、救トレを再起動すると有効になりますので、再度 OFF にしたい場合は、本ボタンにてその都度 OFF にしていただく必要があります。

HDMI を再度利用する際は、救トレを再起動してください。

(11) 有線接続機能 (Ver.3.0.0 以降)

モニター・コントローラーとの有線接続も可能としました。なお、従来どおりの無線 (Wi-Fi) 接続・HDMI ケーブルによるモニターへの接続も引き続き利用可能です。

1. 接続する場所



ここに LAN ケーブルを挿します

こちらの4つは使いません

2. 接続の例



有線のほうが、接続が切れないというメリット・安心感があります。一方、人が線に引っかかるおそれがある・動きの自由度が多少減るといったデメリット・設営の難しさも生じるかと思えます。状況に応じて無線・有線のいずれを利用するか判断ください。

有線接続を行う際は、上の図のように LAN ケーブル、お使いの機器に合わせたアダプタをご用意いただく必要があります。モニター・コントローラー両方とも有線で接続したい場合は、図一番右にありますように LAN 分配器を用いることで可能です。但し線の取り回し面で設営上の難しさはあると思われるのでトレーニング環境に応じてご検討ください。

LAN ケーブル、USB-C アダプタ、Lightning アダプタ、LAN 分配器は電器店等でお買い求め頂けます。「救トレ」Web サイトからも購入可能です。

有線接続の場合は SSID、パスワードの入力は必要ありません。ブラウザから、救トレ 上部貼付シールにある URL にアクセスするのみです。

3. 留意いただきたい事項

有線接続をされる際は以下の点にご留意下さい。

- ・ スマートフォン・タブレット等をお使いの場合は接続可能な機種である必要があります。あまり古い機器ですと対応していないおそれがございます。
- ・ 市販の変換アダプタにもスマートフォン・タブレットに非対応のものもありますため、注意が必要です。よく選んでご購入ください。「救トレ」Web サイトでの販売品は救トレ・スマートフォン・タブレットに対応していることを確認済です。
- ・ Android をご利用の場合、「設定」⇒「ネットワークとインターネット」⇒「イーサネット」を On にしないと繋がりません。設定してお使い下さい
- ・ iPad/iPhone の新しいバージョンでは特段何も設定等せずに繋がるようです
- ・ パソコンを利用する際は、イーサネット設定にて IP アドレスが自動的に指定されておらず、DHCP(IP アドレスを自動的に取得する)に設定されている必要があります。
- ・ Windows の場合は、デスクトップ左下にある虫眼鏡アイコンから「ネットワーク接続」で検索するとネットワーク接続一覧画面が出てきます。その中に「イーサネット」といった名前のアダプタがあるはずですが、それを右クリックして「プロパティ」を出します。「プロパティ」の中に「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」があるはずですが、それを選択した状態で「プロパティ」を押します。出てくる画面で「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されているか確認下さい。もし「次の IP アドレスを使う」が選択されていたら変更する必要があります。下図をご参考下さい。

